

令和5年度(2023年度)

# 南大沢中学校区 地域づくり推進計画 (たたき台)

南大沢中学校区地域づくり推進会議



# 地域づくり推進計画って何？

地域の魅力や課題を踏まえ、将来こういう地域であってほしいという姿をみんなで共有し、それに近づいていくための考え方や、取組方法を示すものです。

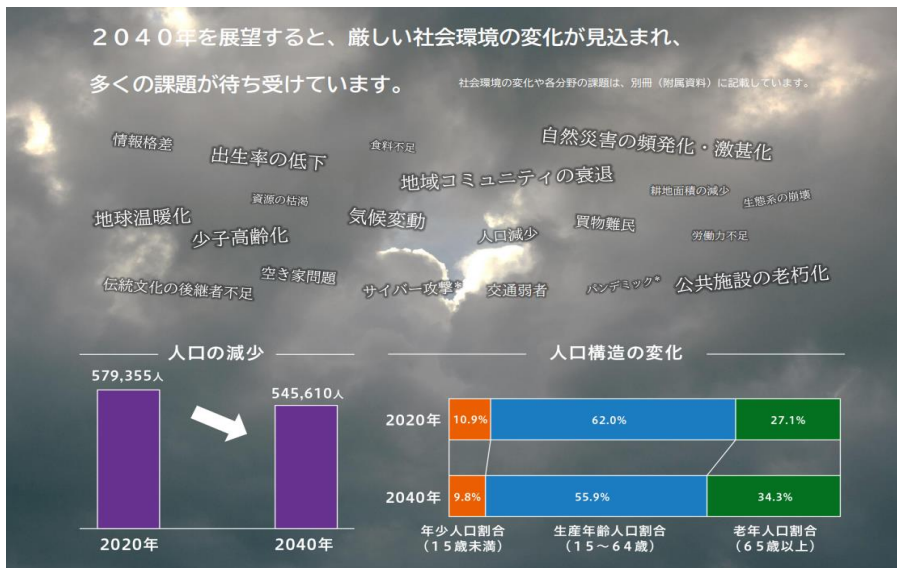
南大沢中学校区の地域住民や活動団体で立ち上げた地域づくり推進会議が中心となり、ワークショップでの意見聴取など、地域の皆さんからいただいたご意見を踏まえて作成しています。

## 目次

1	地域づくり推進計画って何？
2	この計画を作ったのはだれ？
3	南大沢ってこんなまち
4	将来ビジョン
5	アクションプラン
6	アクションプランの進め方
7	推進体制について
8	地域づくり推進計画策定経過
9	地域づくり推進会議参加者

## ■行政と連携して

市では、令和5年(2023年)3月に基本構想・基本計画「八王子未来デザイン 2040」を策定しました。この計画では、人口減少をはじめ社会的に大きな転換点となる2040年を展望し、そこで予測される社会環境の変化に対応するための施策や取組み方針等を記載しています。



2040年に予測される社会環境の変化に対応していくため、地域づくり推進計画の策定にあたっては、地域と行政が課題を共有し、計画の策定に取り組んでいます。

※今回の策定にあたっては、「カーボンニュートラル」「地域防災」「公共施設マネジメント」「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の視点を踏まえて検討を行いました。



## この計画を作ったのはだれ？

### 「地域づくり推進会議」が作りました

■推進会議はさまざまな主体をつなぐプラットフォームです。

南大沢中学校区地域づくり推進会議は、地域の魅力や課題を把握し、その向上や解決に向けて、地域の多様な活動団体や住民同士、地域と行政が協働するための会議体として、令和3年(2021年)12月に立ち上がりました。2か月に1回程度集まり、地域情報を共有、意見交換するほか、地域内や行政との連携に向けた取組も行っています。

#### 地域づくり推進会議参加者(五十音順)

氏名	所属及び役職等
飯田 公司	南大沢住民協議会 会員
磯田 哲夫	南大沢柚子の実会 会長
今泉 陽一	南大沢連絡協議会 顧問
遠津 孝保	社会福祉法人草むら 事務局長
柿島 孝行	地域住民(八王子由木マルシェ運営)
加笠 葉実	南大沢小学校保護者
木村 行美	ふれあい・いきいきサロン(グリーンカフェ) 代表
久保田 菜々子	ぼまるのおうち 代表/南大沢保育園保護者
榊 啓子	特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池
佐藤 駿	多摩大学生
佐藤 昌寿	南大沢町会 町会長
瀬谷 歎多	創価大学 学生
高津 修一	南大沢小学校 学校運営協議会 副会長
高橋 今日子	南大沢小学校学校運営協議会委員/南大沢小学校放課後子ども教室・サタデー教室会長
竹田 皓介	合同会社リメイク 代表社員
田中 茂	青少年対策南大沢地区委員会 会長
田中 麻衣	地域住民
田中 義徳	西由木コミュニティパーク 代表
廣瀬 正直	東京都応急危険度判定員/南大沢中学校学校運営協議会会長
廣田 晶子	バラエティクラブ
福澤 由美子	南大沢中学校 学校運営協議会 会員
宮武 茜	八王子にほんごの会 役員
吉村 由美	第20地区 民生委員・児童委員

## 推進会議のメンバー紹介

推進会議メンバーがつながる事で生まれたのは？

実際に生まれた活動を掲載します

## 推進会議のメンバー紹介

推進会議メンバーがつながる事で生まれたのは？

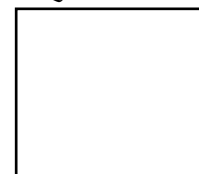
実際に生まれた活動を掲載します

地域の方にインタビュー

地域のキーパーソン(1~2名)に  
インタビューした内容を  
掲載します

南大沢中学校校区のまちづくりに参加しませんか？

QRコード





# 南大沢ってこんなまち

## ■基礎データ

地域カルテはこちら

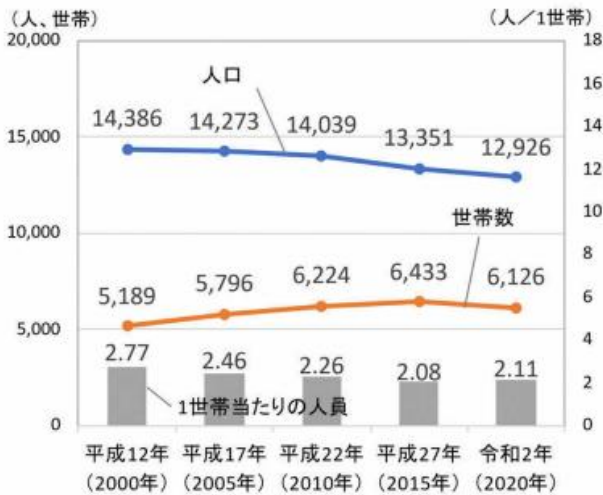


人口: ●●人(●年●月時点)

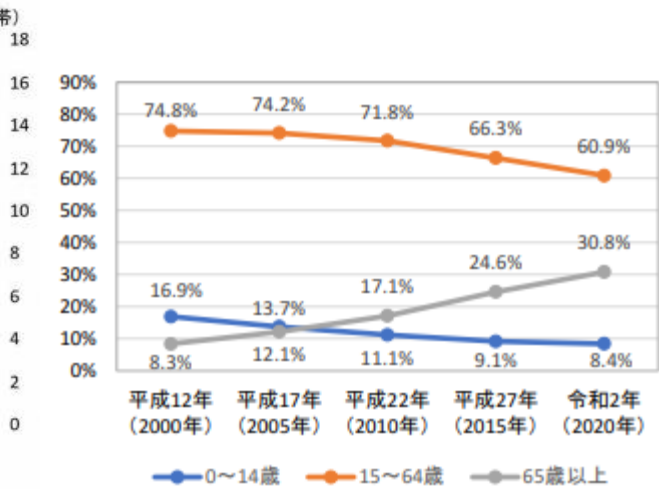
位置: 南大沢一丁目9~1、13~、南大沢二丁目全域、南大沢三丁目全域、南大沢四丁目全域  
 南大沢中学校区は、八王子市東部に位置し、京王相模原線の南大沢駅を中心に発展した地域です。町田市、多摩市と市境を接し、「多摩ニュータウン」の西部に位置しています。

## ■人口の推移(地区全体、少子高齢化)

南大沢中学校区 人員の推移

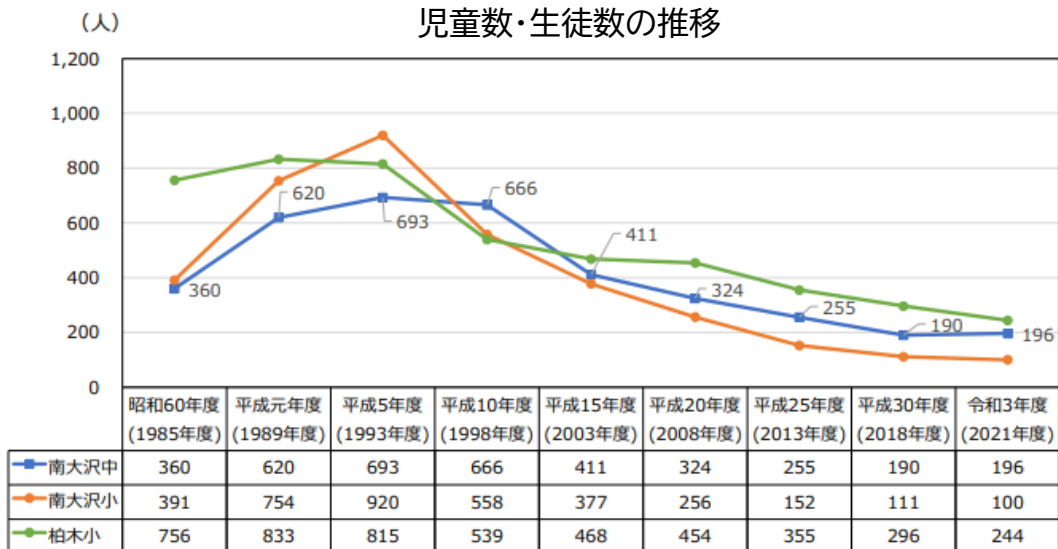


南大沢中学校区 人口構成(年齢3区分)



出典: 国勢調査をもとに作成(年齢不詳を含まない)

児童数・生徒数の推移



各年度5月1日現在

出典: 「はちおうじの教育統計(平成22年度(2010年度)、令和3年度(2021年度))」をもとに作成

# 魅力 ~こんなステキなところがあります~

- 自然環境が豊かでみどりが多く、珍しい植物が多い。
- 四季折々の自然景観を楽しむことができる。
- 公園や広場が随所にある。

魅力を表す写真

魅力を表す写真

- 都市基盤が整い、災害に強い。
- 南大沢駅周辺が遊歩道でつながり、街中は歩車分離がなされて安全で快適に歩くことができる。
- 起伏のある地形により、散歩コースの選択肢が豊富にある。
- 交通アクセスが良い。
- 近場で買い物が済ませられ、教育施設等もコンパクトにまとまっており利便性が高い。

- 文化に長けている人など、多様な人材がいる。
- 個別の地域活動が盛んで活動メニューが豊富にある。
- スマートシティの取組など、先進的な取組が行われている。

魅力を表す写真

# 課題 ～足りていないのはこんなところ～

南大沢中学校校区では、少子高齢化・人口減少をはじめ、次のような地域の課題があります。

## ■地域全体をまとめる組織がない

- ・地域で活動する組織は多くありますが、地域全体をまとめる組織がないため、住民・団体や行政などの架け橋となる組織やコミュニティが必要です。
- ・住民参加型で地域の方向性を決める仕組みが必要になります。

## ■担い手の不足

- ・少子高齢化を見据え、自主性のある若手地域人材の育成が必要です。
- ・また、地域には現役をリタイアした豊富な知識・経験を持つ人が多くいるため、このような地域人材にも活躍してもらうことが必要です。
- ・地域内には、東京都立大学や企業などが立地していますが、地域とのつながりは希薄になっています。今後、連携を深めつつ、まちづくりの担い手の確保が必要です。

## ■つながる機会・場の不足

- ・少子化等の影響によって、子ども会の解散や自治会のスポーツ大会がなくなったほか、新型コロナ感染症拡大の影響により地域のイベントや祭りなどが縮小・中止されてきました。今後、地域のイベントや祭りなどを再開し、つながるきっかけにしていくことが必要です。
- ・地域のなかでも高齢者の閉じこもりが見られ、今後、高齢化が進むと地域から孤立する人が増えるおそれがあります。このような、日常的な孤立や災害などの有事の際の孤立を防ぐため、子どもから高齢者までがつながれる機会が必要です。
- ・気軽に集まれる場所を確保するため地域資源を活用することが必要です。
- ・リアルな場所だけでなく、DX を活用して、だれもがつながることができる場所を確保することが必要です。

## ■つながる意識の不足

- ・「ニュータウン」という特性から、しがらみがないのが良いと思う人や地域活動等に参加したくない人のことも尊重しつつ、つながることの重要性について意識づけが必要です。

## ■地域情報共有の不足

- ・地域では多くの団体が活動していますが、どのような活動をしているのか知らないことも多いため、地域活動情報など、地域情報を集約するところが必要です。
- ・情報を得られない人がいないように、年代や国籍などの属性に応じた、情報共有手段の検討が必要です。

これらの課題を念頭におきつつ、2040年のまちのありたい姿

## 将来ビジョン

みどり豊かでアットホームなまち 南大沢  
～スマートなちからでつくるより良いまち～

「ニュータウン」だからこそ、年齢や性別、出身地そして国籍を問わず、住民をはじめとする南大沢に関わるすべての人が安心して過ごすことができるよう、「ゆるく・楽しくつながる」関係性を築いていきたい。

(検討経過は資料1参照)

# アクションプラン

将来ビジョンの実現に向けた地域づくり活動の方向性は次のとおりです。

## ■地域ぐるみの体制づくり

- ・地域づくり推進会議において、地域の様々な住民・団体が連携できる体制づくりを目指します。

## ■みんながつながる 機会・場づくり

- ・地域で活躍する住民・団体がそれぞれの役割や活動を知る、きっかけづくりに取り組みます。
- ・多彩な地域活動を活かし、誰もが楽しめ、誰でも受け入れる交流の機会・場づくりに取り組みます。

## ■地域の魅力になる 人材の発掘・育成

- ・地域に眠る人材を発掘します。
- ・地域活動に参加し、活動の楽しさを感じてもらうことで、地域の魅力を受け継ぐ人を育成します。

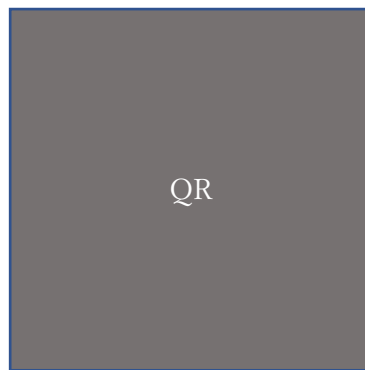
## ■地域の魅力になる 資源の活用

- ・地域の公共施設などの資源をつながる場として活用します。
- ・地域の大学・企業、商店街などと連携し、地域の魅力を高めていきます。

# アクションプランの進め方

「アクションプラン」での地域づくり活動の方向性を念頭に、小さくても、できる  
ところから取組でいきます。

いま、取組んでいる活動を紹介する「プロジェクトPRシート」を、インターネット  
で閲覧できますので、みなさん、ぜひ、ご覧ください。



▲プロジェクト PR シートはこちら

いっしょに活動しませんか！  
活動参加者募集中！



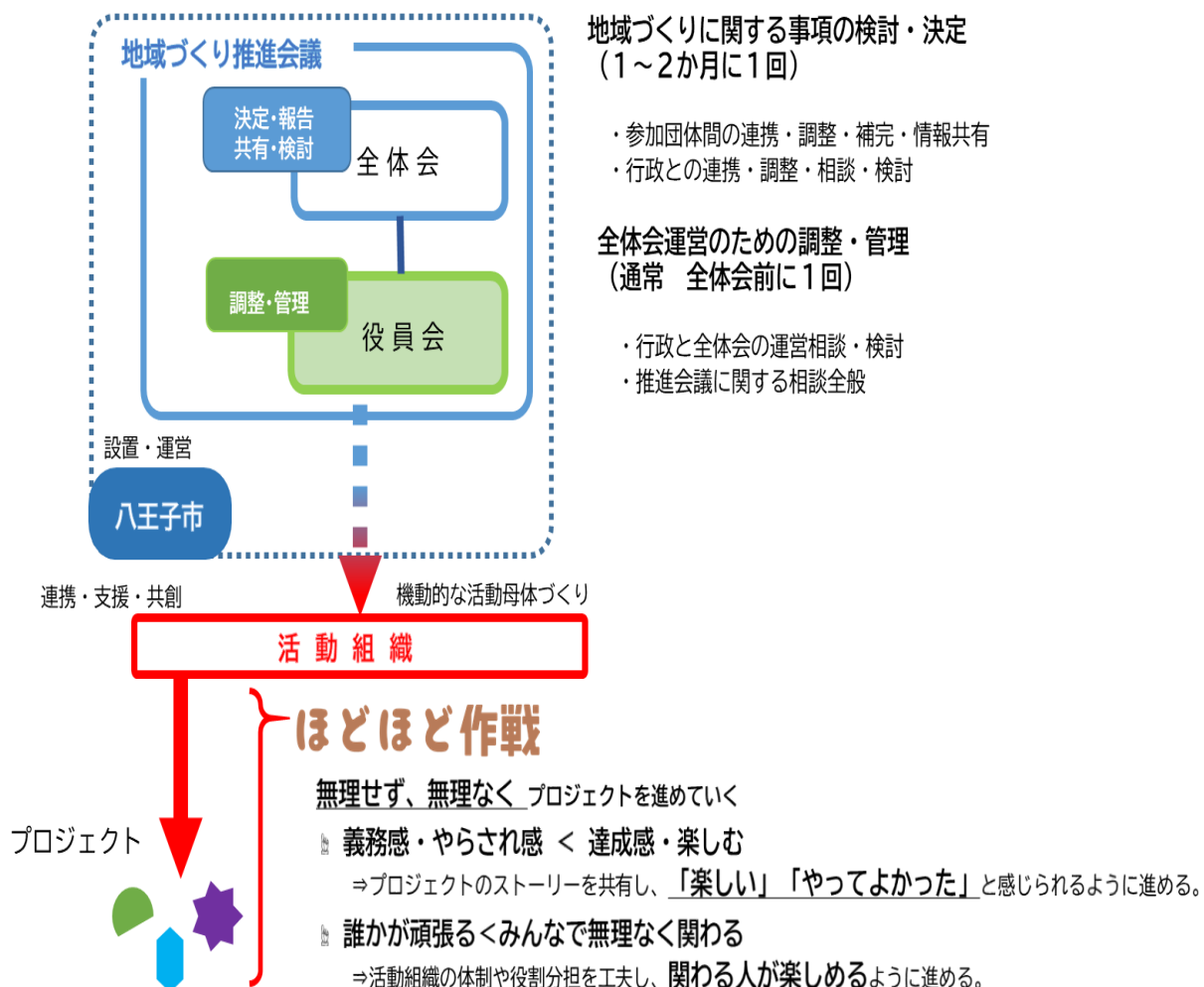
# 推進体制について

推進計画策定後は、以下の体制で地域づくりを進めていきます。

推進会議では、地域情報の共有や意見交換等を行う「全体会」と全体会に向けて調整・管理を行う「役員会」を設置し、より円滑な運営を目指します。

また、地域づくり推進計画で掲げた将来ビジョンを実現するための取組をより機動的に実施するため、活動組織を立ち上げてプロジェクトを進めていきます。

## 推進会議と活動組織



## 地域づくり推進計画策定経過

開催日	会議等	主な検討内容等
令和4年(2022年) 7月23日	地域づくり推進会議	・地域づくり推進計画の策定スケジュールの確認
令和4年(2022年) 9月17日	地域づくり推進会議	・将来ビジョンの検討 ・行政における課題の共有
令和4年(2022年) 11月12日	地域づくり推進会議	・行政における課題の共有 ・中間とりまとめに向けたアクションプランの検討
令和5年(2023年) 1月21日	地域づくり推進会議	・中間とりまとめに向けたアクションプランの検討
令和5年(2023年) 3月4日	地域づくり推進会議	・中間とりまとめ ・地域づくり推進計画の掲載項目の検討
令和5年(2023年) 6月4日	地域づくり推進会議	・アクションプランの検討 ・ワークショップの検討
令和5年(2023年) 7月30日	地域ワークショップ	・地域づくり推進事業について説明 ・南大沢中学校区地域づくり推進会議活動状況報告 ・中間とりまとめに対する意見交換
令和5年(2023年) 9月9日	地域づくり推進会議	・中間とりまとめにワークショップの意見を反映 ・アクションプランの検討 ・推進会議への思いを盛り込む内容の検討
令和5年(2023年) 11月11日	地域づくり推進会議	・推進体制の検討 ・アクションプランのとりまとめ ・地域づくり推進計画の構成確認 ・推進会議への思いのページ作成
令和5年(2023年) 12月16日	地域づくり推進会議	・地域づくり推進計画の最終確認



お問い合わせ

発行：南大沢中学校区地域づくり推進会議・八王子市

電話：042-620-7307(直通)

FAX :042-627-5939

Eメール:chiikidukuri802@city.hachioji.tokyo.jp